

# 令和5年度 京都大学一般選抜 出題意図等

## 国語（文系）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

## 文系

### 出題意図（問題Ⅰ全体）

論説文における表現と議論の展開を適切に理解する力を問う。また論じられている内容や、主張と根拠の関係について、明解で誤解を引き起こさない適切な表現によって述べる力を問う。

### 出題意図（個別問題）

- 問一： 演劇に関する筆者の考えを理解し、ドラマが「為されるもの」という表現の内容を踏まえて、適切かつ明確に表現することを求める。
- 問二： 映画と演劇の違いに関する筆者の考えを理解した上で、「この呼吸」が映画では「不可能」だと筆者が考える理由について、明確に説明することを求める。
- 問三： 「ものまね」を見せられる側と見せる側の違いについての筆者の考えを把握し、傍線部に示された筆者の主張の根拠を明確に説明することを求める。
- 問四： 筆者が本文において「教養」をどのようなものとして語っているかを理解して、「自我」についての言及を踏まえつつ、その性格を適切な言葉で表現することを求める。
- 問五： 筆者が芸術のいとなみにおいて皆が「孤独におちいつている」とする考えを、本文全体を踏まえて正確に理解して、十全に説明することを求める。

### 出題意図（問題Ⅱ全体）

問題文は、岡潔の経験やそれを経て岡が残した言葉を紹介しつつ、岡が取り組んだ数学研究のあり方を説くものである。岡の思想に対する筆者の理解を正確に把握し、それを的確に表現する力を問う。

### 出題意図（個別問題）

- 問一： 傍線部の「情操型の発見」とはどのようなことか、それを経験した岡潔の言葉や、それらに対する筆者の解釈に基づいて的確に説明することを求める。
- 問二： 岡潔が「不思議である」という言葉を発する前提となった状況を正確に理解したうえで、そのように感じた理由を適切に説明することを求める。
- 問三： 傍線部「この例外でない」の指す具体的な内容を、問題文中の関連する記述に基づいて的確に把握したうえで、それを十分に説明することを求める。
- 問四： 芭蕉は傍線部の句をどのようにして作りだしたと岡潔は認識したのか、岡の言葉や、それらに対する筆者の解釈に基づいて的確に説明することを求める。
- 問五： 岡潔の数学への取り組み方を総括する筆者の言葉について、どのようなことを言っているのか、本文全体に対する正確な理解に基づいて説明することを求める。

出題意図（問題三全体）

本問は、江戸時代の随筆を題材に、古典文法と古語に関する基本的な知識に基づいて、古文の原文を正確に読解し、的確に説明する力を問うものである。一部に漢詩を含んでおり、その知識と理解も問うている。

出題意図（個別問題）

問一： 文脈を十分に理解した上で、必要な言葉や説明を補いながら、適切な現代語に訳すことを求める。

問二： 傍線部の意味を理解した上で、直前の兼好『徒然草』の挿話にも触れながら、適切に説明することを求める。

問三： 傍線部の意味を理解した上で、漢詩をよむに至る経緯を含めて、適切に説明することを求める。

問四： 問題中に説明される故事を踏まえ、傍線部の漢詩の意味を理解した上で、適切に説明することを求める。